

私は、六論会を代表いたしまして、議案第1号から議案7号までの議案7件、令和4年度一般会計予算及び各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の全てに賛成する立場で討論いたします。

令和4年度一般会計予算は531億7,100万円と前年度比4.3%、21億9,900万円の増となっており、予算規模としては、令和2年度の当初予算515億6,600万円を上回る過去最大の予算規模となっております。

根幹となる市税は大幅な増収見込みとなっておりますが、コロナ禍前の状況には回復できておらず、逆に社会保障費は増加しており、依然として必要な財源確保が極めて厳しい中、ゼロベースでの事業見直し、業務改善・効率化による経費削減に取り組み、適切な予算編成が行われたと評価いたします。

歳入ですが、令和3年度当初予算で大幅な減少を見込んでいた市税は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、想定を上回る収入見込みであることから、個人市民税は前年度比5.1%増、法人市民税は25.0%の大幅増、固定資産税は新築棟数見込みなどにより1.3%の増となり、市税全体では、約9億1,500万円、4.2%の増が見込まれています。地方の財源不足を補う普通交付税についても増額となっておりますが、その一方で普通交付税の代替えである臨時財政対策債は大幅減となっております。令和3年度予算では、一般財源不足を補うため財政調整基金を取り崩して収支の均衡を図っていましたが、令和4年度予算では財政調整基金の取り崩しを行うことなく収支の均衡が図られており評価いたします。

続いて歳出ですが、費目別に申し上げますと、総務費では、(仮称)多世代交流センター整備事業、市職員の情報発信力の強化に係わる経費が新規計上され、野田市の魅力をアップさせる未来への投資も行われています。

民生費の社会福祉関係では、強度行動障害者グループホーム整備補助金が、高齢者福祉関係では、楽寿園個室化改修工事が新規に、児童福祉関係では、こども医療費助成金の制度が拡充され、子供を持つ家庭の経済的負担のさらなる軽減が図られているほか、児童センター及び既存の児童館6館に新たに指定管理者制度が導入され、児童センターの令和4年8月開館に向け、子ども館整備事業も、インクルーシブ遊具の導入など、全ての人に優しいこども館実現のため継続されています。

衛生費では、新型コロナウイルスワクチン接種に関する経費が計上されるとともに、胃がん検診費について、がんの予防及び早期発見のため胃部内視鏡検査が導入されたほか、好評を得ている健康・スポーツポイント事業が増額されており、市民の健康増進が図られています。この健康・スポーツポイント事業に関しては、申し込みのデジタル化やスマートフォンアプリとの連携なども検討中とのことで今後が非常に楽しみです。

農林水産業費では、農道維持管理費、かんがい排水事業費が増額計上されており、また商工費では、空き店舗活用支援事業の補助対象を拡充して増額されているほか、引き続き将棋女流タイトル戦や宝珠花小僧将棋まつりの開催費が計上されています。

土木費では、連続立体交差事業及びその関連事業である愛宕駅東口駅前及び西口駅前広場等整備、野田市駅西土地地区画整理及び中野台中根線整備の進捗が図られるとともに、浸水対策として六丁四反調整池等の排水整備費が計上されているほか、街路樹の整備や市民の森のさらなる充実など、コウノトリをシンボルとした生物多様性自然再生事業が計上されています。

消防費では、無停電照明装置設置工事が新規計上され、防災拠点の強化が図られています。

教育費の学校関係では、学校トイレの洋式化を進める小学校トイレ改修事業費が、社会教育関係では、鈴木貫太郎記念館の再建に向けた取り組みや公民館のWi-Fi環境整備や高齢者スマホ教室のさらなる充実などが進められています。また、保健体育関係では、ウォーキング大会負担金や文化スポーツ推進奨励金が計上され、スポーツの推進が図られています。

以上、主だったものを取り上げましたが、冒頭にも申し上げたとおり、必要な一般財源の確保が極めて厳しい中、全庁を上げた新たな財源確保策の検討やゼロベースでの事業見直しにより、財政調整基金の取り崩しを行わずに予算編成されたことを大いに評価いたします。

また、予算審査の過程で、評価の高かった事業でもさらに進化させる取組も地道に行われていることが分かりました。自治体DXへの取組も始まりつつあることも分かり併せて評価いたします。

今後も引き続き厳しい財政状況が続くと思われませんが、未来への種をまきつつ、持続可能な財政基盤を構築するためにも、引き続き新たな財源確保やゼロベースでのメリハリを付けた事業見直しの継続をお願いいたします。

また、国民健康保険、介護保険、次木親野井特定土地地区画整理事業、及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算についても、それぞれ目的に沿った適切な予算措置がなされていると評価いたします。以上の通り、私は令和4年度一般会計予算ほか全ての予算に賛成いたします。